

Be creative !



天高し スポーツの秋・文化の秋 伸び行く生徒たち

今回は2人の2年生にインタビューをしてみました。その様子をお伝えします。

▼陸上部 北村はるさん(2年生)

第24回東海高等学校新人陸上競技大会800m3位に入賞をして、今どんな気持ちですか。とてもうれしいです。特に800m決勝では自己ベストを出すことができましたし、レースの内容もとてもいいものとなりました。最後まであきらめず、耐えて、速い選手にくらいついていくことができました。400mでも予選で自己ベストを出すことができたのですが、決勝のレースはふがいないものだったと思っています。ラスト100mのところまではいい感じだったのですが、最後、足がどうしても動かず、結果としても7位でした。練習不足だったと反省しています。

スランプに陥ったら。 高2の春がそうでした。けがをして、練習が十分にできない日々が続きました。そうした時は過去の自分が走るビデオを観て、この走りに戻るにはどうしたらいいか、ひたすらイメージを膨らませます。自分の気持ちを前向きに持っていくように努力します。そして、目標を定めます。自分にとってはこの東海新人の大会までに自分をベストに近い状態に持っていくというのが目標だったので、その目標に照準を合わせて調整ができたと思っています。

部活は楽しいですか。 小4から陸上を始めたのですが、実は私の小中学校には陸上部がなく、ずっとクラブチームで練習をしてきました。部活を経験するのは高校になって初めてのことです。周りに同じ目標を持つ仲間がいて、応援し、互いに指摘し合えることは励みとなっています。特にメンタル面での支えがあることがうれしいです。自分がだめだと思っている時も、「大丈夫だよ、必ず行けるよ。」と励ましてくれると、レースに臨む勇気が湧いてきます。支えがあることの大切さを高校の部活動で実感をしています。

目指す選手はいますか。 はい、日本選手権に出場している先輩がいるのですが、その人を目標にしています。私もこの冬に走りこみ、春には800mの標準記録を何とかして超えたい、そして日本選手権に出場したいと強く願っています。「走る」ことは私の生活の一部です。部活とは別に毎日30分ぐらい必ず走ります。走らないと体がうずうずします。みんなの応援を力にこれからも頑張りたいと思います。

▼吹奏楽部 松元千夏さん(2年生)

2つの愛知県代表、そして全国大会出場を果たしましたね。この夏の大会を迎えるにあたり、私たちはミーティングを開きました。その中で「東海大会に出場する」という目標を立てました。東海大会A編成の愛知県代表に選ばれた時は本当にびっくりしました。レベルの高い強豪校が肩を並べるその中に、自分たちが入りこむ隙間なんてないと心底思っていました。楯野先生の教えに従って、私たちは音程・音色をひたすら磨いてきました。それは地味な練習であり、小さなことの積み重ねです。音が合わないときは合うまで練習をします。何回演奏しても合わないときは心にぐっと来ます。苦しくもなります。でも妥協せず、やり続ける、これが楯野先生の方針です。その先生を信じてやるべきことをやり上げていったことにより、上の、さらに上の大会の切符を手に入れることができました。見たことのな



い、新しい景色を見ることができました。本当にうれしかったです。全国大会は本来なら東京で開催されるのですが、今回はコロナ禍のため、録画審査となり少し残念です。でも、中学校時代には手の届かなかった大会です。結果を心待ちにしたいと思います。

吹奏楽部への思いを教えてください。 3年生の先輩たちが入試準備のために抜けたり、引退したりする中で、現在は1・2年生で演奏する機会が増えました。やはり、3年生の先輩たちの力は大きかったなあと実感しています。その3年生を目指してまずは自分たちの演奏のレベルをアップさせたい。「みんなで創る音楽」、これを実現するために、みんなが意見を出し合い、それをリーダーが受け止め、組織し、みんなで実践していきたいと思っています。私はこの秋から部長となり、2回の公開見学会と楯野先生の誕生日を祝う会を中心になって企画・運営してきました。でも中心になると言いながら結局、多くの人の手を借り、その人たちの力がなければ何もできない自分を見つめます。部長としてどうあるべきか、悩むこともたくさんありますが、目標をきちんと持ちながら更に上を目指して頑張りたいと思います。

2021年度私学協会優良生徒表彰 石川 智暉 さん(3年生)

学業成績に加え、部活動及び学校生活全体において他の生徒の模範となる生徒として、本校から3年生石川智暉さんが選ばれ、私学協会の表彰式にて表彰されました。石川君は将来看護師となることを目指し、勉学に励むとともに、3年間野球部にて活躍、この夏の大会もベスト8に大きく貢献しました。

石川君、おめでとうございます。



Global Meetup 2021 on November 13th

来る11月13日(土)、本校にとって初の試みである「Global Meetup 2021」が開催されます。今年度は



フィリピン・台湾・カンボジアの高校、大学の皆さんと英語で交流します。本校の紹介として和太鼓部の皆さんの演奏や、3年生グローバル英語コースの皆さんによるカンボジアの子どもたちへの算数教育に関わるプレゼンなどの取り組みも行います。初めての取り組みゆえ、失敗や躓きもあることと思いますが、それらを糧にして本校で長く続く取り組みに発展させていきたいと願っています。ご期待ください。

今月の言葉 10月26日、秋篠宮家の長女眞子さまは結婚し、皇族を離脱された。作家の森まゆみさんが眞子さまへの思いを新聞に寄せた。

眞子さんは、皇籍離脱一時金をもらわず、儀式もせず、10月26日に結婚する。私の尊敬する知恵ある老人は「失敗のない人生はそれこそ失敗でございます」と言った。この言葉をプレゼントしたい。家柄、財産、職業に安全弁のついたご令息との結婚など、何わくわくすることがあるだろうか。

思うように生きてほしい。好きな仕事をしたらいい。もっと別の貧しい、過酷な社会があることも知るといい。うまくいかなかったらやりなおせばいい。人に強いられる人生には恨みしか残らないが、自分の信念で選んだことなら責任の取りようはある。眞子さん、アメリカで羽ばたいてください。

— 寄稿 眞子さんの結婚に思う 森まゆみ (作家)

もり・まゆみ 1954生まれ 『青鞥』の冒険』で紫式部賞。

ほかに『女のきつぷ』『子規の音』など

